

足立区立第九中学校におけるOJTの活性化について

—子どもの教育について何でも話せる職員室、切磋琢磨する教職員集団—

平成30年4月1日

足立区立第九中学校長
長 塚 琢 磨

Off-JT (校外研修)

- 足立区教育委員会の研修・研究
 - ・ 職層に応じた研修
 - ・ 教育課題研修等
 - ・ 訪問による研修
 - ・ 拠点校やモデル校の取組
- 東京都教育委員会の研修
 - ・ 教科等・教育課題研修
 - ・ 東京都教育実践発表会
- 区教研等の研究会等の研修
 - ・ 教科部会
 - ・ 領域部会
- そのほか
教育課程届出等の各種説明会、
教務や生活指導等の主任会・連絡会
地域等との連絡協議会 など

自己啓発

- 自己啓発とは、Self-Development と言われ、人材育成の基盤であり、教職員が自らを磨き、力量を身に付けるために、課題意識をもって、様々な研修や研さんに励むことであるとされている。
- 自らの興味や関心により各種研究会や研修会への参加（東京都公立学校教育研究会、教科等の任意研究会など）
 - 自己課題の探究のための資料収集
 - 仲間との研究（会話・討論）
 - 研修・研究発表などの資料づくり
 - 日々の読書や体験など

OJT

1 校内研修等

- 1 共通認識と組織的対応の意識の向上
 - 人権教育、組織の一員としての力、服務事故防止など
 - 各学年・各分野の理解や教職員の交流
- 2 教育者としての専門的な知識・技能等の習得
 - 教科の授業等を充実させる力の育成
 - 基本的な生活習慣や生き方の指導力の向上
- 3 日常的なOJT等の実施
 - OJTの理解とOJTの推進（計画・継続的な実施）
 - メンタルヘルスと仲間づくり

2 日常的な生活から

2 日常的な生活から

- 1 授業への取組からの成長
 - 学習効果測定の検証からの授業プランづくり
 - 生徒の反応や授業評価
- 2 委員会活動や部活動での成長
 - 連絡調整や共通理解
 - 生徒の個性伸長のための組織的対応
- 3 新たな職からの成長や組織力の向上
 - 新たな役割の経験で感性を磨く、豊かな発想と機動力の向上
 - 責任を果たす、事故を防止する。

3 教科等の専門性の向上から

- 1 教科等の専門的な知識・技能等の習得
 - 教科等の科学的かつ最先端の知識・技能
 - 国や東京都の動向、学校の実態把握など
- 2 役職や学年に関わらず
 - 勉強会などの設置（体面や校風向上に貢献）
 - 資料の共有化など
- 3 相談できる仲間づくりによる切磋琢磨
 - 共に学び合い、子供に関する会話に花が咲く職員室
 - 自己の課題と解決策の発見

4 横断的な運営から

- 1 時代の動向や地域の実態の理解
 - 新学習指導要領や蒲田中学校の課題の理解
 - 情報収集と情報提供など
- 2 多くの人とのふれあい
 - 保護者や地域住民への理解の深化
 - 協働の取組による教育意識の向上
- 3 新たな発想への転換
 - 組織見直しや予算の重点化などへの意見
 - よりよい教育への新たな発想

5 メンター的存在の必要性

- メンター的な存在を設置し、人間性や教職員としての職務やマナーを学ばせる。
- 1 理解し、認め、方向性を示す
 - 教職員の魅力、礼儀・マナー
 - 職務の課題や解決策
 - 2 相談を受け、よい仕事をさせる
 - 自己課題の発見と解決策
 - メンタルヘルス
 - 3 共に学び、新たな授業やよりよい教育のプランをつくる
 - スクラップ&ビルド
 - より求められている新たな教育活動

※ 「メンター」とは
ギリシアの詩人ホメロスの記した「オデュッセイア」に登場する老賢人「メントル」からきた言葉であり、よき指導者、よき助言者、顧問という意味である。
先輩や上司等を指導者として業務上の課題だけでなく、広く職業人としてのマナー等についても学ぶ。メンター制度は企業でも取り入れられている。